

大橋可也&ダンサーズ カンパニーメンバーオーディション

来たれ、アウトサイダーよ。来たれ、アマチュアよ。来たれ、ダンスをもって真実をなそうとする者よ。

「知識人とは亡命者にして周縁的存在であり、またアマチュアであり、さらには権力に対して真実を語ろうとする言葉の使い手である。」

エドワード・W・サイード

大橋可也&ダンサーズは今後の活動を支えるカンパニーメンバーを募集します。

これまでの大橋可也&ダンサーズ公演では、出演者は作品ごとに流動的でしたが、今後の作品のよりいっそうの進化と、海外を含む活動の展開を考慮し、固定したメンバーによって作品を制作、発展させることにしました。今回は第1回のカンパニーメンバーの募集となります。ダンスとは何か。ダンサーの、振付家の使命とは何か。孤独な道をとともに探し求め、歩きましょう。

【募集人数】 男女若干名

【選出方法】

カンパニーメンバー希望者を対象に8月11、12日両日にワークショップをおこない、ワークショップ終了後、カンパニーメンバーを選出します。

【応募資格】

- 1) ダンスあるいは身体の在りかたについて真剣に取り組もうとしていること。
- 2) 自立した生活を維持している、またはしようとしていること。
(学生、専業主婦は可)
- 3) 数年間に渡り、大橋可也&ダンサーズの活動に積極的に参加できること。

具体的には、2007/8/18から2008/2/3までの毎土日におこなう全50回のリハーサルに45回以上参加可能であること。2008/2/6-11の新作公演に全日参加可能であること。2008年4月以降に予定されている海外公演、地方公演に参加可能であること。
(稽古時間帯は基本的に10:00から18:00まで、1月以降は休祝日含む)

- 4) ダンス経験の有無は問いません。

カンパニーメンバーとは:

振付家大橋可也とともに大橋可也&ダンサーズの作品を作り上げていくダンサーです。カンパニーメンバーは2008年2月、2009年9月(予定)におこなう新作公演、および、2008-2009年に予定されている海外公演に出演することが出来ます。ただし、すべての公演への出演を保証、または出演を義務付けるものではありません。各公演の出演者は作品内容などによって決定します。出演に対するギャランティは公演の諸条件に応じて支払います。

【開催日時】 2007/8/11(土)、12(日) 10:00-18:00

【参加費】 2000円

【会場】 森下スタジオ

東京都江東区森下3-5-6 地下鉄都営新宿線、都営大江戸線「森下駅」A6出口 徒歩5分

【申し込み方法】

下記問合せ先まで、以下の事項をご記入の上郵送にてお申込みください(書式自由)。

- 1)氏名 2)連絡先(メール、携帯など) 3)住所 4)経歴 5)応募動機

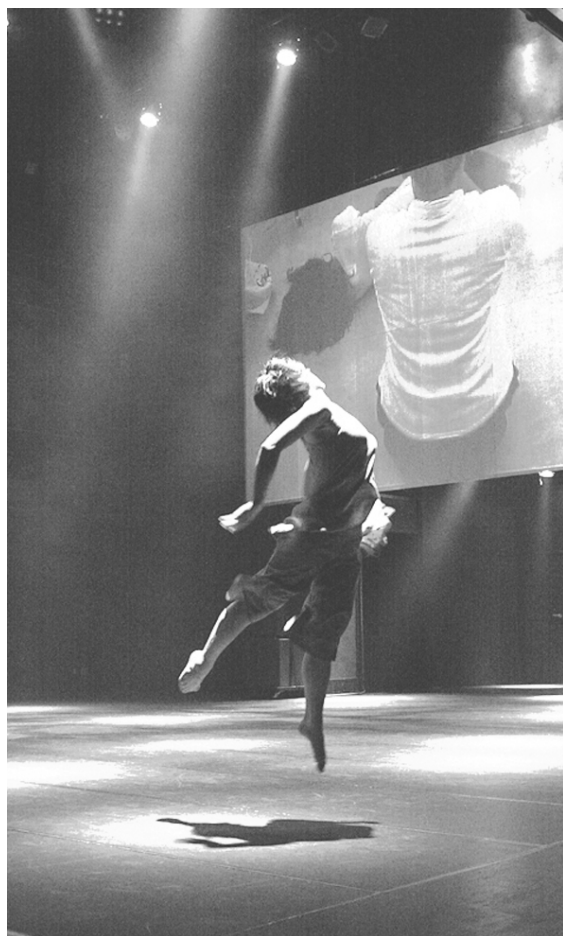
申し込み期限:8/8 必着

※両日参加が原則ですが、どうしても都合がつかない方はお問い合わせください。

【申し込み郵送先】

〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-10-5 日興パレス広尾プラザ604 ビーグル・インク(株)
大橋可也&ダンサーズオーディション受付係

【問い合わせ】 大橋可也&ダンサーズ dancers@dancehardcore.com <http://dancehardcore.com/>



撮影:GO

【大橋可也&ダンサーズ今後の活動予定】
2007/6/16(土) 東野祥子(BABY-Q)との共同制作作品『9(nine)』
多摩美術大学八王子図書館公演
2007/6/24(日)『9(nine)』CORPI ALTRI [BODY OTHER]
セッションハウス公演
2007/8/4(土)『9(nine)』びわ湖ホール夏のフェスティバル公演
2008/2/9-11 大橋可也&ダンサーズ新作公演『明晰の鎖』
会場:吉祥寺シアター

【大橋可也&ダンサーズ】独自の振付、作品創作方法により、国内外で注目をされているダンスカンパニーです。

ハードコアダンスを提唱し、「ダンスとは何か」という問題に真摯に立ち向かうダンスカンパニー。舞踏振付方法を学んだ大橋可也によって、1999年に結成。2000年、「パニョレ国際振付賞2000ヨコハマプラットフォーム」に出場するも、出演者が全裸であるという理由で非公開の審査となる。以降、活動を休止。2003年、活動を再開。2004年、『あなたがここにいる』を発表。同作品にて「ラボ20#16アワード」受賞、「トヨタコレオグラフィアワード2004ネクステージ」出場。2005年、ニューヨークの代表的なアートスペース「The Kitchen」に招聘される。2006年8月には吉祥寺シアターで『明晰さは目の前の一点に過ぎない。』を発表。9月には同作から抜粋した作品『Journey Beyond the Clarity』をもってイタリアツアーをおこなった。2007年より、セゾン文化財団芸術創造活動プログラムの助成対象に選ばれる。

助成:セゾン文化財団